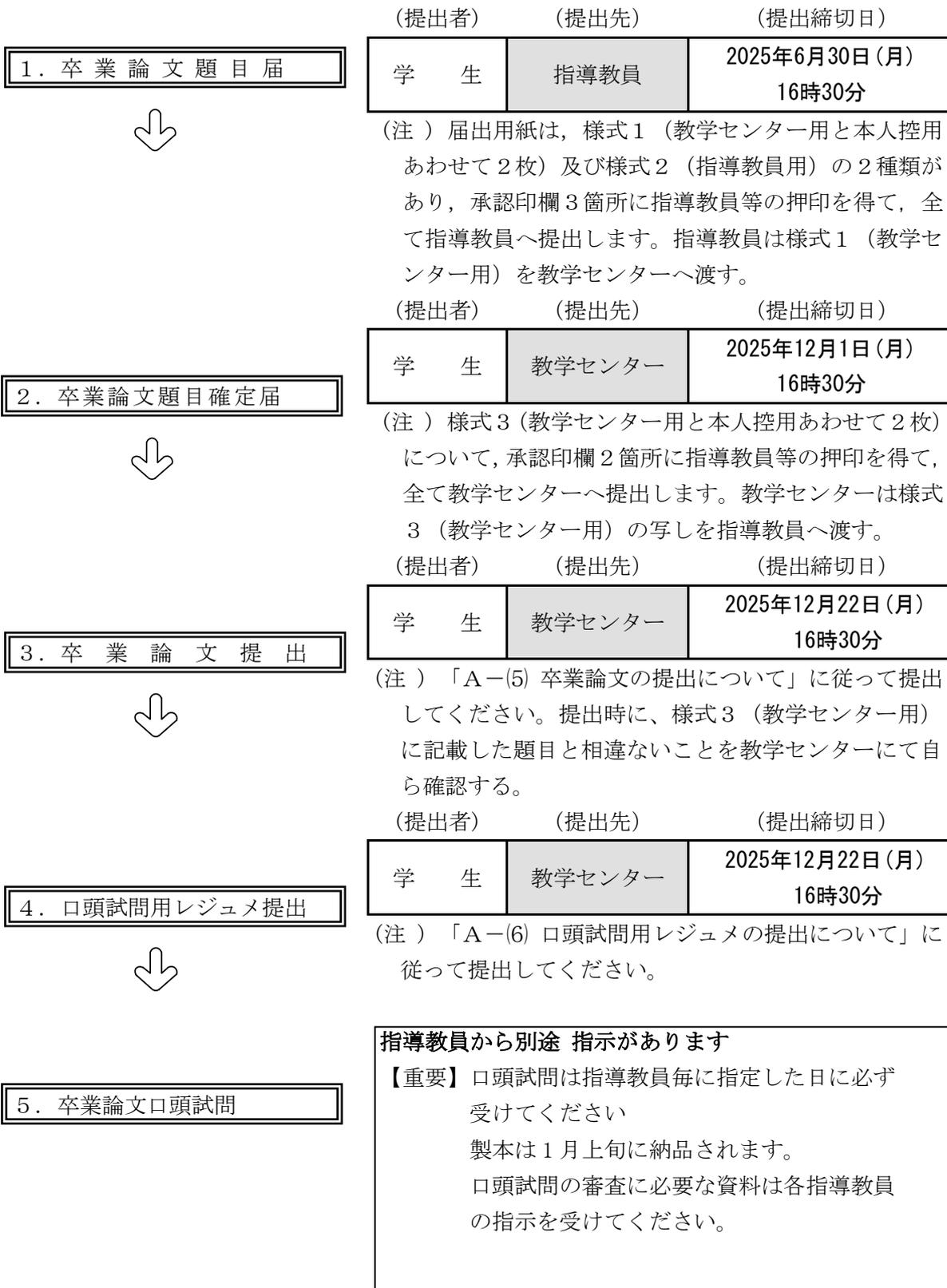


卒業論文

卒業論文は、以下の要領に従い、提出すること。

< A. 心理学科 >

A-(1)卒業論文提出までのフローチャート



A-2) 卒業論文の履修登録は必ず行なうこと

【注意】履修登録の際、「クラス」をよく確認すること

A-3) 卒業論文題目について

卒業論文の題目は、次のとおり、2回届け出る。いずれも指導教員等の承認を得て届け出なければならぬ。所定の期限までに題目を届け出ない場合は、卒業論文の提出を認めないので要注意。届出用紙は、指導教員より配布する

- ①「卒業論文題目届」…「様式1：教学センター用と本人控用あわせて2枚」及び「様式2：指導教員用」の2種類

提出締切：6月30日(月) 16時30分

提出先：指導教員

提出要領：(ア) 所定の届出用紙にパソコン(文書編集ソフト等)を使用して記入すること
手書きの場合は、ペン又はボールペンで記入すること

(イ) 必ず指導教員等の承認印を得ること

(ウ) 本人控え(本人控用)を必ず受け取ること

- ②「卒業論文題目確定届」…様式3：教学センター用と本人控用あわせて2枚

提出締切：12月1日(月) 16時30分

提出先：教学センター

提出要領：(ア) ①の題目届と変更がなくても必ず届け出ること

副題がある場合は、必ず題目確定届の副題の欄に記入すること

(イ) 必ず指導教員等の承認印を受けること

(ウ) 本人控え(本人控用)を必ず受け取ること

「題目確定届」を提出した後は、題目を変更することができない

「題目確定届」と「卒業論文」の題目は必ず一致していること

A-4) 卒業論文の書式について

日本心理学会「執筆・投稿の手びき」(2022年改訂版)に準拠すること

※詳細は指導教員の指示に従うこと

① A4判の白紙にモノクロで鮮明に印字すること(カラー印刷は不可)

② 1ページの字数は800字(25字×32行)とする

③ 文字の大きさは、10.5ポイント以上とし、左右の余白は上下左右3cm以上とする

④ 論文は、基本的には、序論(目的)、方法、結果、考察、引用文献を含むものとする

⑤ 論文には必ず広島修道大学所定の表紙をつけること

ただし、所定の表紙の形式に従っていれば、ワープロ等で作成した表紙でも可とする

なお、表紙に記した題目は、題目確定届の題目と一致する必要があるので十分に確認すること

⑥ 枚数等詳細は指導教員の指示に従うこと

A-5) 卒業論文の提出について

①「A-4)卒業論文の書式」に従って作成した論文を提出すること

② 提出部数：1部

③ 提出期限：12月22日(月) 16時30分

【重要】日時に遅れた論文等は一切受理しない

④ 提出先：教学センター

⑤ 提出要領：

- (ア) 作成した論文は、一式を封筒に入れて糊付け等により封をする
封筒に入れる際に、論文をホッチキス等で綴じないこと
封筒に入れた論文は、そのまま製本されるので、ページの抜けがないか、上下の逆がないか、封をする前に十分確認すること
論文の厚みが3mm（目安として30ページ）以上ないと背表紙がつけられないため、その場合には白紙を挿入する。
- (イ) 封筒の表（おもて）に「指導教員名」、「学籍番号」及び「氏名」を書く
- (ウ) 論文の表紙と背表紙を製本1部につき1枚ずつ用意する
表紙と背表紙には卒業年度、題目、氏名等を下記のように記入する。
表紙と背表紙はそのまま製本版に印字されるので、決して間違えないこと
封筒の中に表紙と背表紙を入れないこと

表紙（A4横書き）

<p>202■年度卒業論文 題目</p> <p>健康科学部心理学科 学籍番号 氏名</p>

背表紙（A4縦書き）

<p>題目</p> <p>氏名</p> <p>二〇二■</p>

(エ) 論文を入れた封筒と（ウ）の表紙と背表紙を教学センターに提出

⑥ 製本費用について：

(ア) 大学提出用製本の費用は心理学科が負担する

A-⑥ 口頭試問用レジュメの提出について

- ① 口頭試問用に卒業論文の内容をまとめて、レジュメ（A4用紙1枚）を作成すること
- ② 提出期限：12月22日（月） 16時30分
- ③ 提出先：教学センター
- ④ レジュメ作成の要領などの詳細については、別途案内する
提出先：教学センター
部 数：1部

A-⑦ 製本の点検について

封筒に入れた原稿をそのまま製本するため、原則として点検不要

A-⑧ 口頭試問（最終試験について）

卒業論文提出者は、口頭試問を指定の期日（指導教員から別途指示する）に必ず受けること

A-⑨ 前期末卒業の卒業論文取り扱いについて

次の必要条件を満たし、かつ前期末卒業を希望する者については、次のとおり取り扱う。

- ① 必要要件：(ア) 4年以上の在学期間があること
(イ) 単位修得上、前期末卒業が可能であること
(ウ) 卒業論文の指導教員等の承認があること

- ②提出要領：(ア) 卒業論文題目届提出締切は、6月2日(月)16時30分とする
(提出先は指導教員)
(イ) 卒業論文題目確定届提出締切は、7月31日(木)16時30分とする
(提出先は教学センター)
(ウ) 卒業論文提出締切は、8月25日(月)16時30分とする
(エ) 口頭試問用レジュメの提出締切は、8月25日(月)16時30分とする
- ③口頭試問：卒業論文提出者は、口頭試問を指定の期日に必ず受けること
口頭試問までに製本が納品されないため、審査に必要な資料は各指導教員の指示を受けること
- ④その他：大学提出用製本については、年度末の卒業論文製本の際に業者に製本を依頼する
※詳細については、その都度教学システムのお知らせ等を利用して案内する

A-(10) 前期休学・後期復学者の卒業研究取り扱いについて

次の必要条件を満たし、後期のみでの卒業論文履修を希望する者については、次のとおり取り扱う。

- ①必要要件：(ア) 4年以上の在学期間があること
(イ) 前期に休学または留学しており、後期に復学していること。
(ウ) 単位修得上、年度末卒業が可能であること。
(エ) 卒業論文の指導教員の承認があること。
- ②提出要領：(ア) 卒業論文題目届提出締切は、10月31日(金)16時30分とする
(提出先は指導教員)
(イ) 卒業論文題目確定届提出締切は、12月1日(月)16時30分とする
(提出先は教学センター)
(ウ) 卒業論文提出締切は、12月22日(月)16時30分とする
(エ) 口頭試問用レジュメの提出締切は、12月22日(月)16時30分とする
- ③口頭試問：卒業論文提出者は、口頭試問を指定の期日に必ず受けること
- ④その他：大学提出用製本については、年度末の卒業論文製本の際に業者に製本を依頼する
※詳細については、その都度教学システムのお知らせ等を利用して案内する